

AMDA

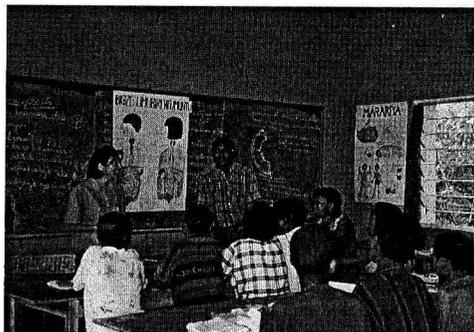
(AMDA - The Association of Medical Doctors of Asia)
〒701-1202 岡山県岡山市橋津310-1 Tel: 086-284-7730 Fax: 086-284-8959
E-mail: member@amda.or.jp URL: http://www.amda.or.jp/

活動分野▶医療
活動地域▶世界各地
語学力▶B

「Better Medicine for Better Future in Asia」を目標に1984年に設立。世界各地で多様な医療プロジェクトを推進している。国連機関等とともに、被災地域や難民発生地で援助活動を行い、開発途上国の地域保健開発計画を促進している。また、現地カウンターパートの研修なども行っている。

【ボランティア活動情報】

- 活動内容：緊急医療援助活動（医療従事者）。プロジェクト調整員（ディレクター、フィールド・コーディネーター）。
- 活動地域：アフガニスタン、パキスタン、ネパール、カンボジア、ミャンマー、ジブチ、ケニア、ペルー、ボリビア、ルワンダ、ザイール、アンゴラ、モザンビーク、旧ユーゴスラビアなど。
- 期間：原則的に1年以上。短期参加も可。
- 資格：医療従事者の場合はそれぞれの資格。調整員については、社会経験があり、ポジティブな人。
- 私たちはこんな人を求めています：「AMDAの活動理念を理解したうえ、参加してくれる人。明るく前向きで、ポジティブな思考で物事に対処できる人」
- 語学力：調整員の場合、英語で交渉できる語学力が必要。
- ボランティア経験を通して学べること：緊急医療援助の現場経験。国連機関や他のNGO、現地政府との交渉経験など。
- 応募方法・時期：不定期。問い合わせを行うこと。
- ボランティア以外の支援方法：事務局でのボランティア。イベントなどの手伝い。会員になる。



ルワンダで母親たちに衛生教育をする

● 手当あり。交通費、住居、食費支給。

体験レポート

ボランティア精神に裏付けされたプロフェッショナル意識

服部浩也

1967年生まれ。92年にアメリカ・ピッツバーグ大学国際関係大学院修士課程修了。インターン、アメリカ国務省日本語研修所勤務などを経て、AMDAへ就職。ジブチ・ソマリア難民救援プロジェクト・現地ディレクターを勤め、帰国。

ジブチ共和国において現地ディレクターとして任務を遂行しながら、よく考えさせられることがある。それは、元来抱いていた自分の「ボランティア」および「NGO」観と実際の職務およびカウンターパートのわれわれに対する見方の間に存在する「ずれ」のようなものだ。日本においては、いまだにNGOイコール・ボランティア、ボランティア・イコール「非・プロ」といった公式が見受けられるように思える。しかし、たとえば私の携わるAMDAのジブチ・プロジェクトにおいては、現地政府厚生省、国連高等難民弁務官事務所といったエージェンシー、すなわちプロフェッショナルがカウンターパートとなる。彼らは当然のことながら、われわれのプロフェッショナルとしての活動を期待し、評価する。われわれの医療活動の直接の享受者である難民およびローカルスタッフも、AMDAを医療エキスパートのプロフェッショナルな団体と見なしている。

そうした環境の中で、現地でコーディネーターを務めるに際し、プロとしての交渉能力、事務処理能力は言うまでもなく、幅広い国際的視野および普遍的な人類共同体意識が必要不可欠であると切に思う。「ボランティアだから」などという言い訳は全く成り立たないのだ。

一方「ボランティア精神」といったものがNGOにとっては命のようなものであることも確かだ。たとえば、在ジブチ市エチ

オピア難民帰還計画の遂行中、鉄道会社の国連に対する賃上げ要求が起り、毎週1便のジブチ発エチオピア行き帰還列車が走らなくなったとき、エチオピア難民収容所に出動したのはAMDAのスタッフだけといったことがあった。また、一時収容所への国連による飲料水供給が遅れた際、AMDA事務所からポリタンクで運んだこともあれば、極度の栄養失調乳児のために自らミルクを買いに走り回ったこともある。各人のポスト・勤務時間が設定された官僚機構においては不可能な対応が、NGOにおいては可能であり、それを支えているのが個人の「ボランティア精神」であると思う。

ボランティア精神に裏付けされたプロフェッショナル意識、これはAMDAで活動するすべての者に要求されると同時に、AMDAの現地における活動を可能にする大切な要素だ。

アムダ (AMDA—The Association of Medical Doctors of Asia)

〒701-12 岡山市楠津310-1

Tel: 086-284-7730 Fax: 086-284-6758

医療援助

「Better Medicine for Better Future in Asia」を目標に、1984年に設立。世界各地で多様な医療プロジェクトを推進している。国連機関等とともに、被災地域や難民発生地域で援助活動を行い、開発途上国の地域保健開発計画を促進している。アジア地域を中心とした世界17か国に支部を持つ。国内では、東京と大阪でAMDA国際医療情報センターを運営、言葉や保険医療制度の問題で十分な医療を受けられない在日外国人を対象に、医療相談活動を行っている。また、タイ国の医療スタッフ受け入れ研修なども行っている。

- ◆活動分野 緊急医療援助活動(医療従事者)。プロジェクト調整員(ディレクター、フィールド・コーディネーター)。
- ◆活動地域 ネパール、カンボジア、ジブチ、ルワンダ、ザイール、アンゴラ、モザンビーク、旧ユーゴスラビア等。
- ◆期間 原則的に1年以上。短期参加も可。
- ◆資格 医療従事者の場合はそれぞれの資格。調整員については、社会経験があり、ポジティブな人。
- ◆英語力 調整員の場合、英語で交渉できる語学力が必要。
- ◆応募方法・時期 不定。上記に問い合わせを行うこと。
- ◆待遇 手当あり。交通費、住居、食費支給。
- ◆ボランティア経験を通して学べること 緊急医療援助の現場経験。国連機関や他のNGO、現地政府との交渉経験等。

◆私たちはこんな人を求めています 「AMDAの活動を理解していただき、参加して下さる人。明るく前向きで、ポジティブな思考で物事に対処できる人」

◆ボランティア以外の支援方法 事務局でのボランティア。イベント等の手伝い。会員になる。

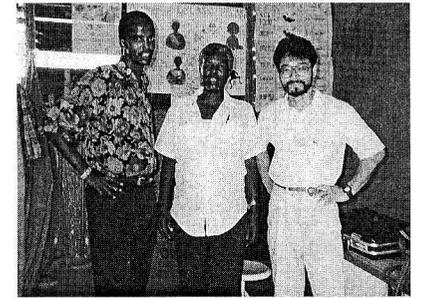


子どもたちに下着を配布する。

体験レポート

ボランティア精神に裏付けされたプロ意識

服部 浩也



ジブチ共和国において現地ディレクターとして任務を遂行しながら、よく考えさせられることがある。それは、元来抱いていた自分の「ボランティア」および「NGO」観と、実際の職務および仕事相手からの我々に対する見方の間に存在する、「ずれ」のようなものだ。日本においては、いまだにNGO＝ボランティア、ボランティア＝「非プロ」といった公式が一般に見受けられるように思える。しかし、たとえば私の携わるアムダのジブチ・プロジェクトにおいては、現地政府厚生省、国連難民高等弁務官事務所といった機関、すなわちプロフェッショナルな人々が仕事相手となる。彼らは当然のことながら、我々の活動をプロフェッショナルとして期待し、評価する。我々の医療活動の直接の享受者である難民といった人々およびローカルスタッフも、アムダを医療エキスパートのプロフェッショナルな団体と見なしている。

そういった環境の中で、現地でコーディネーターを務めるに際し、プロとしての交渉能力、事務処理能力は言うまでもなく、幅広い国際的視野及び普遍的な人類共同体意識といったものが必要不可欠であると切に思う。「ボランティアだから」などという言い訳は全く成り立たないのだ。

一方、「ボランティア精神」といったものがNGOにとっては命のようなものであることも確かだ。たとえば、在ジブチ市エチオピア難民帰還計画の遂行中、鉄

道会社の国連に対する賃上げ要求が起き、週1回のジブチ発エチオピア行き帰還列車が走らなくなったこともあった。この時いつものようにエチオピア難民収容所に出動したのは、アムダのスタッフだけだった。また、一時収容所への国連による飲料水供給が遅れた際、アムダ事務所からポリタンクで運んだことがあれば、極度の栄養失調乳児のために自らミルクを求めて走り回ったこともある。各人のポスト・勤務時間が設定された官僚機構においては不可能な対応が、NGOにおいては可能であり、それを支えているのが個人の「ボランティア精神」であると思う。

ボランティア精神に裏付けされたプロフェッショナル意識、これはアムダで活動するすべての者に要求されるものであると同時に、アムダの現地における活動を可能ならしめる大切な要素だろう。

(はっとり ひろなり) 1967年生まれ。92年に米国・ピッツバーグ大学国際関係大学院修士課程卒業。インターン、米国国務省日本語研修所勤務等を経て、AMDAへ就職。現在、ジブチ・ソマリア難民救援プロジェクトの現地ディレクターを勤める。